

義務教育9か年の学習は、社会人として将来自立するための基礎となるものです。とくに「読むこと」「書くこと」「計算すること」などは欠かすことのできない「生きるための力」です。子どもたちの基礎的・基本的な知識・技能のいっそうの定着をはかるためには、家庭との協力が必要です。よりよい「家庭学習の習慣化」に向けて「家庭学習の手引き」を作成しましたので、よく目にする場所に貼っていただき、お子さまの学力向上にお役立て下さい。

1. 家庭での学習を習慣化しよう
 ☆宿題は、あくまでも学校での学習内容を確認するためです。学力の定着には宿題以外に家庭での自主学習の積み重ねが必要です。

◆学習時間のめやす

- 1・2学年 10分～20分
- 3・4学年 30分～40分
- 5・6学年 50分～60分
- 中1学年 60分～
- 中2学年 60分～
- 中3学年 90分～

学力アップは規則正しい生活から

- 早寝・早起き。
- 朝食は必ずとる。
- 朝の排便。
- 自分で時間割や学習用具をそろえる。
- 家に帰ったら、すぐに宿題をすませる。
- テレビやゲームは、1日1時間半以内に！

※学習時の環境づくり

- ・勉強する時は、テレビを消す。
- ・よい姿勢で学習する。
- ・机の上を、きれいに片付ける。

2. 家庭学習の参考例【各学年共通】

○国語・・・漢字練習、意味調べ、全文書き取り、読書、音読、視写、日記等。

○算数・数学・・・計算練習、百マス計算、文章問題、テストで間違えた問題をもう一度ノートに写して解いてみる。

○社会・理科・生活科等・・・勉強したところに関係がある事गराを本や辞書などで調べてまとめる。市販のドリルや問題集、自主学習や読書などに進んで取り組む。

3. 生活の中で心がけたいこと

- 帰宅後、ランドセル等の荷物は、すぐに自分で片づける。
- 宿題が終わったら、すぐに時間割を合やす。
- 読書は「見えない学力」を高めるので、進んで本を読む。
- 国語辞典や漢字辞典、その他の辞典類を身近に置いて調べる。
- 日本地図や世界地図を身近なところに置いて調べる。
- ニュース番組を親子で見話し合い、新聞を読む。
- 家庭の中から、すすんであいさつをする習慣を身につける。
- 自然や生き物とふれあい、詳しく観察する。
- できるだけ外遊びや運動をして、体力を高める。
- 家の手伝いを進んでする。
- 「早寝、早起き、朝ご飯」など、規則正しい生活をする。
- ノートや絵の具等、学習に必要なものは、使い切る前に準備しておく。

1・2年 一緒にいてやる気をおこす

習慣づけの1年生

- ①ひらがな、かたかなが正しく読めて書ける。
- ②助詞（は、を、へ）を適切に使分けけて文章が書ける。
- ③80字の配当漢字がすべて読め、8割以上の漢字が書ける。
- ④えんぴつを正しく持って字が書ける。
- ⑤たし算・ひき算ができる。



学力向上は
家庭学習の
習慣化から

習慣が定着しはじめる2年生

- ①160字の配当漢字すべてが読め、8割以上の漢字が書ける。
- ②教科書がすらすら読める。
- ③順序良く話をする事ができる。
- ④九九がすらすら言える。
- ⑤たし算とひき算の筆算ができる。
- ⑥決められた長さの直線を正しく引ける。

3・4年 認め、ほめて、自信をつける

分岐点をのりこえる3年生

- ①200字の配当漢字のすべてが読め、8割以上の漢字が書ける。
- ②国語辞典を使って言葉が調べられる。
- ③筋道を立ててわかりやすく話したり、書いたりすることができる。
- ④簡単なわり算ができる。
- ⑤かけ算の筆算ができる。
- ⑥重さをはかり、表すことができる。
- ⑦千万の位までの数を読んだり、書いたりすることができる。

学習内容が具体的なものから抽象的なものへ「9歳の壁」を破る4年生

- ①200字の配当漢字のすべてが読め、8割以上の漢字が書ける。
- ②ローマ字の読み書きができる。
- ③国語辞典や漢和辞典が正しく使える。
- ④わり算の筆算ができる。
- ⑤文章題の意味が分かり、式を立てることができる。
- ⑥コンパスを使って簡単な図形がかける。
- ⑦地名が調べられ、47都道府県を漢字で正しく書ける。

5・6年 見守って・伸ばす

学力の差がつく5年生

- ①185字の配当漢字のすべてが読め、8割以上の漢字が書ける。
- ②習った漢字を使った熟語の8割以上書ける。
- ③小数のかけ算・わり算ができる。
- ④異分母の分数のたし算・ひき算ができる。
- ⑤割合・百分率を使った問題が解ける。
- ⑥地図帳を使って、世界の地名や日本の地名を調べることができる。



進学に希望をもたせる6年生

- ①小学校で習得すべき漢字のすべてが読め、8割以上の漢字が書ける。6年生の配当漢字は181字。
- ②分数のたし算やひき算・かけ算・わり算ができる。
- ③様々な文章の内容を捉えながら、読むことができる。
- ④歴史上の事件や人物についてだいたいわかる。
- ⑤世界の主な国々の位置を、正しく示すことができる。
- ⑥理科の基本的な原理や法則が分かり、実験道具の正しい使い方を知っている。

中学生の生活リズムと学習習慣を身につけよう

1・2年 中学校生活に慣れよう
～最初が肝心～

学習時間のめやすは
60分



1. 2年生では -中学校の生活リズムに慣れよう!

- ①中学校でも「早寝・早起き」「しっかり朝食をとる」などの基本的な生活習慣を見直すことができる。
- ②部活動なども始まり生活リズムが大きく変わります。まず、中学校の生活リズムに慣れることが大切です。
- ③「思春期」を迎え、心と体の成長がアンバランスになりがちで、ちょっとしたことで不安・悩みを抱えやすくなるので、一人で抱え込まず、相談することを心掛ける。
- ④自我がめばえ、心身ともに成長する時期です。責任ある行動をとることができる。

学校生活では

- ①日頃の授業を大切に、基礎・基本を確実に身につけることが必要です。
- ②学校では部活動において中心的な立場になります。時間の使い方を工夫しはじめをつけて学習との両立をはかることができる。

家庭学習の3つのポイント

①生活リズムの中に家庭学習を ～最初が肝心～

まずは習慣化が大切。中学校の生活リズムの中にも家庭学習は大切です。部活動との両立は慣れるまで大変ですが、時間を有効に使う事を心がけましょう。

②家庭学習の方法を工夫しよう ～自分流を確立しよう～

家庭学習の内容は、予習復習を中心に行いましょう。どちらに重きをおくかは教科にもよるので担当の先生に聞いてみましょう。授業があったその日のうちにノート整理や教科書・プリントを使ってのポイント整理などをしておく定期テスト時に役立ちます。自主勉強帳をつくっておくのも良いでしょう。

③わからないときは ～聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥～

わからないことが出てきたらできるだけ早く解決することです。友達や先生に相談するとよいでしょう。自信をもって問題を解いたり、テストで答えを導き出したるためには、自分でしっかり理解できている事が大切です。

中学校3年生
将来を見すえた目標を持ち、努力しよう!

学習時間のめやすは
90分以上



3年生では

- ①自分の進路を選択する時期となる節目の時です。将来の目標、また、それを実現するために身近な目標をたて、毎日の努力の積み上げが大切です。
- ②説明会に参加したり、先輩からの話を聞いたりして、正しい進路情報を得ることができる。
- ③将来を見すえた具体的な目標を持つことが、意欲の向上・学習への集中につながります。

学校生活では

- ①日頃の授業を大切に、基礎・基本を確実に身につけ、練習問題を数多く解いていくことが大切となります。
- ②学校生活では行事や部活動において中心的な立場になります。時間の使い方を工夫しはじめをつけて、学習との両立をはかりましょう。
- ③学習や進路についてなかまと話し合い、学び合っていくことが大切です。

家庭学習の3つのポイント

①日頃の積み重ねが力になる ～焦らず一歩一歩～

- ・今までの家庭学習を継続・発展させ、着実に力をつけていくことができる。
- ・起床から就寝までの生活スケジュールの見直しを行い、時間を有効に使うことができる。
- ・チェック表を作成し、計画通り学習を進めたら、チェックしていくことも自分への励ましになります。

②年間スケジュールを考えよう ～時期を考慮して～

- ・3年生の1年間を見すえて、学習計画を立てることができる。3年生の生活は変化のある一年です。年間スケジュールを考えることで、今、自分のすべきことが明確になってきます。3年の学習内容と1・2年の復習を計画的に取り組みましょう。
- ・長期の休み(夏休み・冬休み)や部活動引退後は、継続的に学習できる絶好の機会です。計画的に過ごしましょう。

③学習環境を整えよう

- ・学習机周りの整理整頓を心がけ、効率よく学習できるように整理整頓を心がけることができる。
- ・音楽を聴きながら、テレビを見ながらでは、頭の中でひらめきや発想は生まれません。学習に集中できる環境をつくりましょう。

5教科の家庭学習の仕方

5教科の家庭学習のポイントは3つ(宿題・予習・復習)です。

- 1 宿題・提出物 ◎ 出された宿題は、ていねいに仕上げ、期日までに必ず提出する。
- 2 予習 ◎ 前の授業のノートを見て、内容を確認する。〈国語〉・分からない語句の意味調べをしたり、熟語を入れた短文を作ったりする。
◎ 学習箇所の音読は効果的である。 〈英語〉・新出単語をノートに書き出す。・単語の意味調べをする。・本文をノートに書き写す。
〈数学・社会・理科〉・教科書の重要語句に線を引く。
- 3 復習 ◎ 今日の授業のノートを見直し、教科書と照らし合わせて、不足部分を補う。 〈国語・英語〉・授業で学習した新しい漢字・単語を練習する。
◎ カラーペンで、大切な部分に線を引くなどして、内容を確認する。 〈数学〉・授業で行った問題を、もう一度書き写して解き直す。
・ワークから類似問題を探し、解いてみる。
〈社会・理科〉・ノートと、ワークシートと、教科書とを突き合わせ、学習内容を確認する。
- 4 テストの後始末「テストノート」のお勧め
◎ 各教科のテストが返されたら、間違ったところを「テストノート」に書き写し、解き直したりまとめたりして、同じ間違いをしない工夫をする。

